

NP〇法人 インフォメーション ギャツプバスター 理事長 伊藤 芳浩



電話リレーサービスを
NPO活動でも
プライベートでも
多く活用しています



電話リレーサービスを
使う前はそんなに
必要性を感じて
いませんでした



でも使ってみないと
その良さは分からない
と思い実際に使ってみることにしました



そしたら はまって
しまいい多い時は
1日に10回ぐらい
使う日もあります



なぜはまっつて
しまったのか？



リアルタイムで
コミュニケーション
できることの
凄さを知った



電話リレーサービス
を使う前は
NPOで発注価格を
交渉するときに
2～3日間
かかっていた

電話リレー サービス を使うと



たっ たの
10分 で
済みました



メールだと
細かいニュアンスが

すぐ伝わらず
5～6回ぐらい
やり取りを
しなくては
いけない

電話だと

細かいニュアンスが

分かるようになるのと

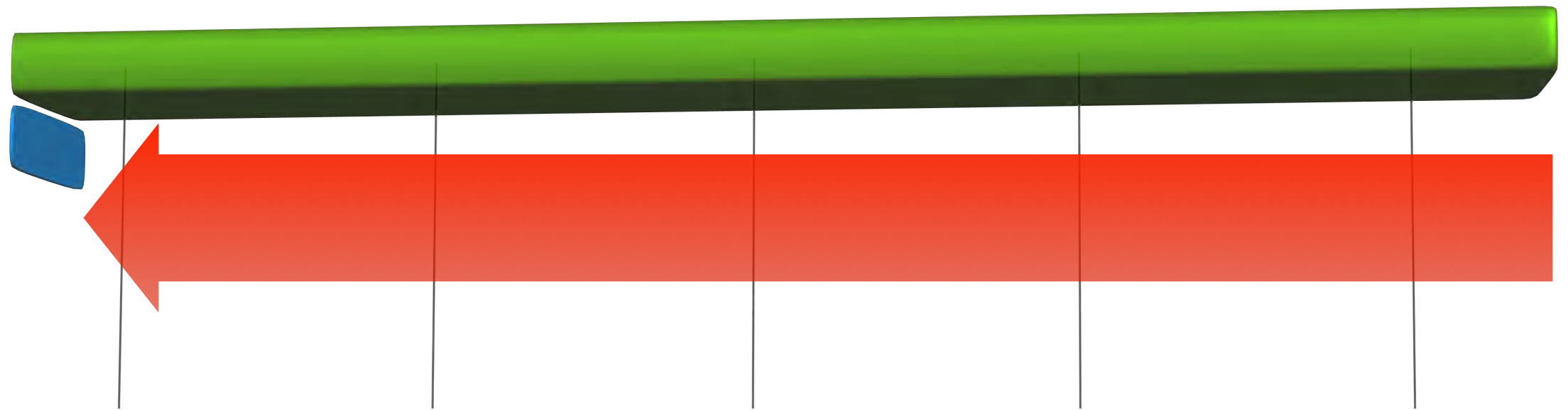
相手の返事をすぐ

もらえるので

話がスムーズに

進みます

電話を使う時と
使わない時の差



$1/500$
の時間で解決

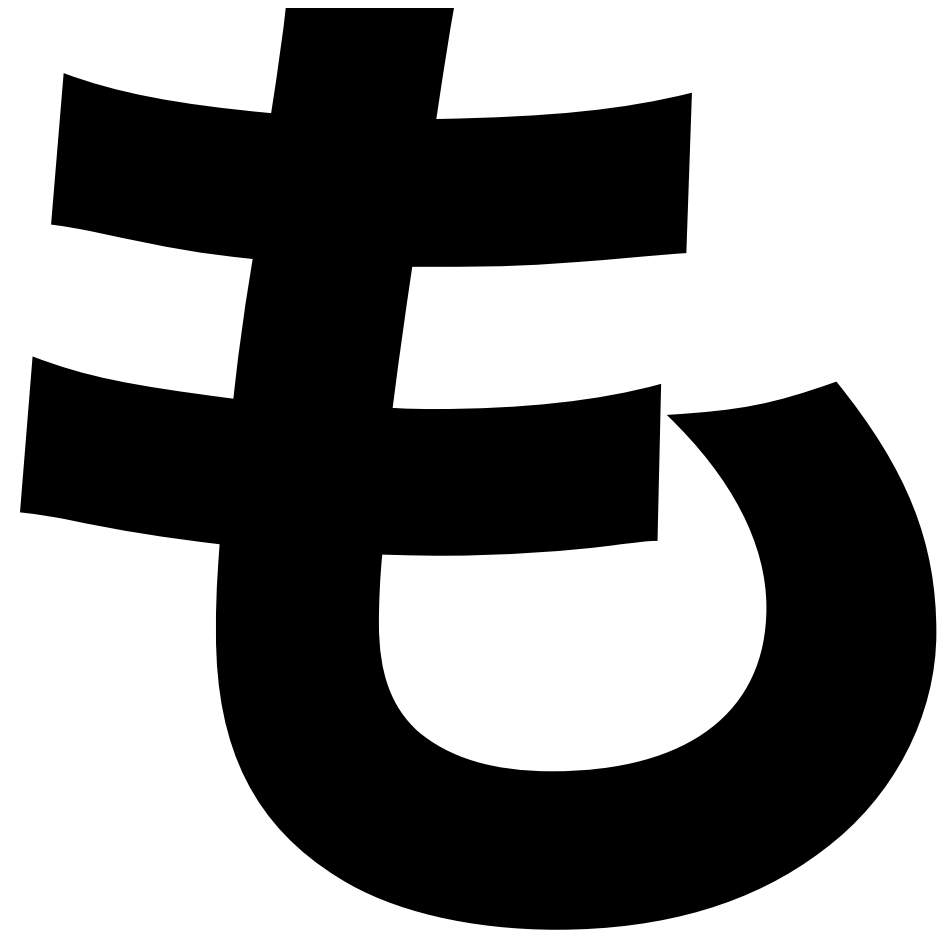
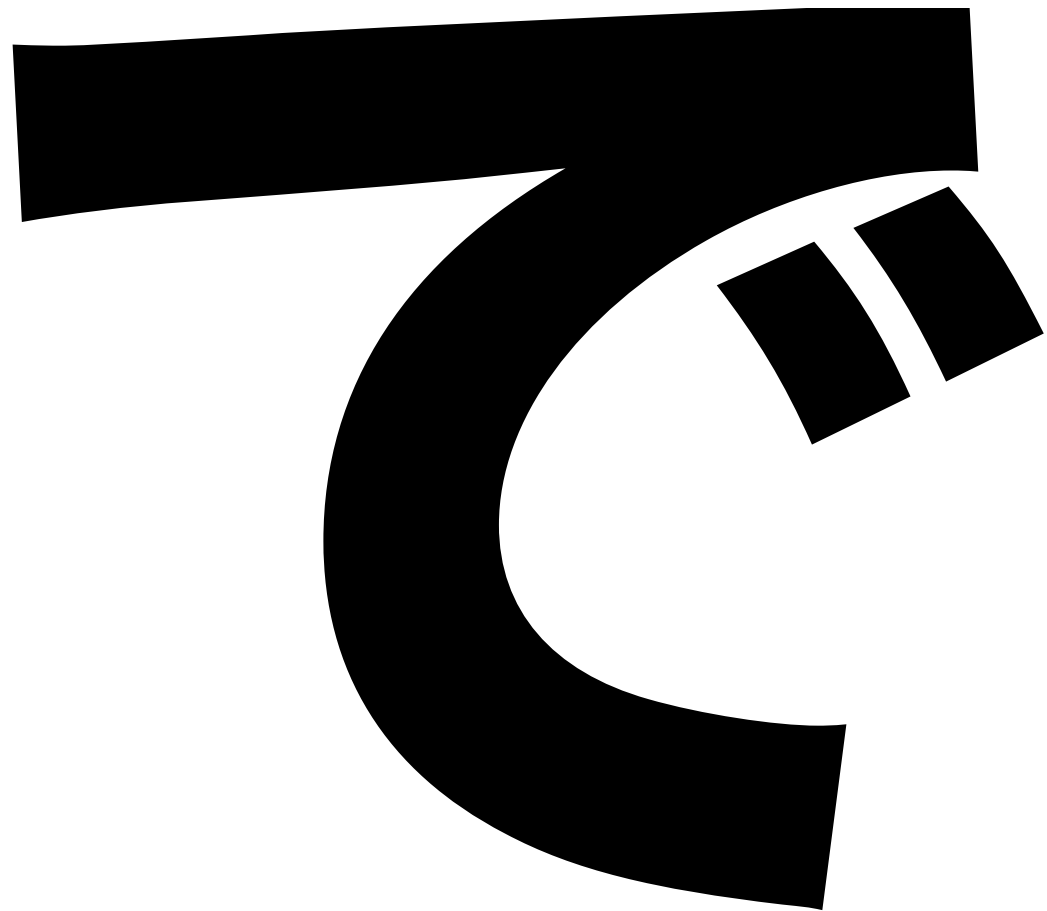
聞こえる人に
とっては
あたりまえ
のこと

耳の聞こえない
人にとっては
あたりまえで
ない

こういった
小さな差が

積み重なる
大きな格差に

電話リレー
サービスは
使った方が
絶対良い！



今の日本の
電話リレー
サービスは
残念ながら
公的サービス
ではありません

公的サービスとは
法律等で電話会社が
電話リレーサービスの
設置を義務付けて
いることです

現在は日本財団の
支援によって試験的に
提供されている
電話リレーサービス
のため 2つの制約が
あります

時間

利用者数

24時間未対応

定員有

いつでも
だれでも
使えない

いつまで
日本財団の
支援が続く
かは不明

**NPO法人
インフォメーション
ギャップバスターでは
電話リレーサービスの
公的サービス化を
実現するために
署名活動をしています**

電話事業を統括する総務省に 改善要望を出します



誰もがあたりまえに電話を つかえる社会を実現したい



署名活動にご協力を よろしくお願ひします！

方法は2つあります。

(1) オンライン署名([CHANGE.ORG](https://change.org))

(2) 用紙による署名

change.org

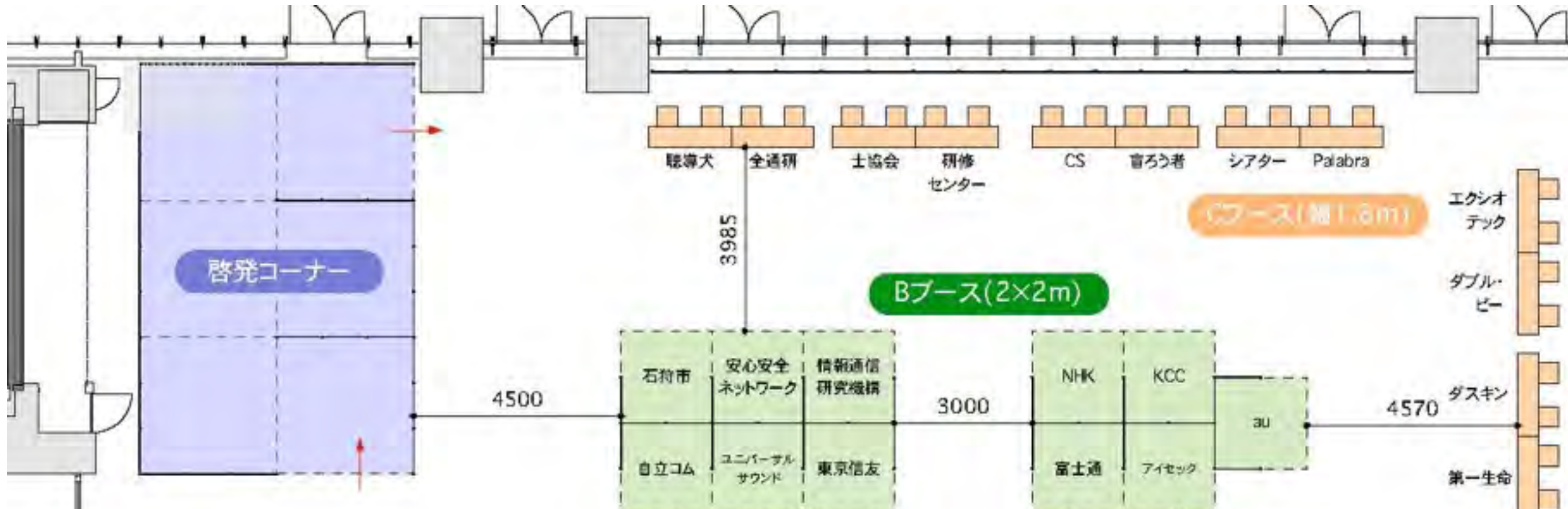
氏名	日付

現在目標の

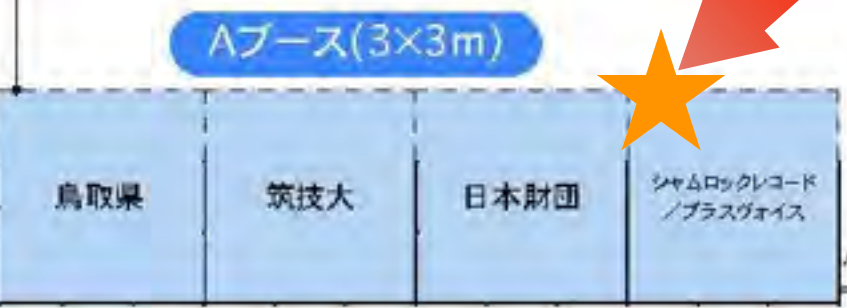


1 / 3

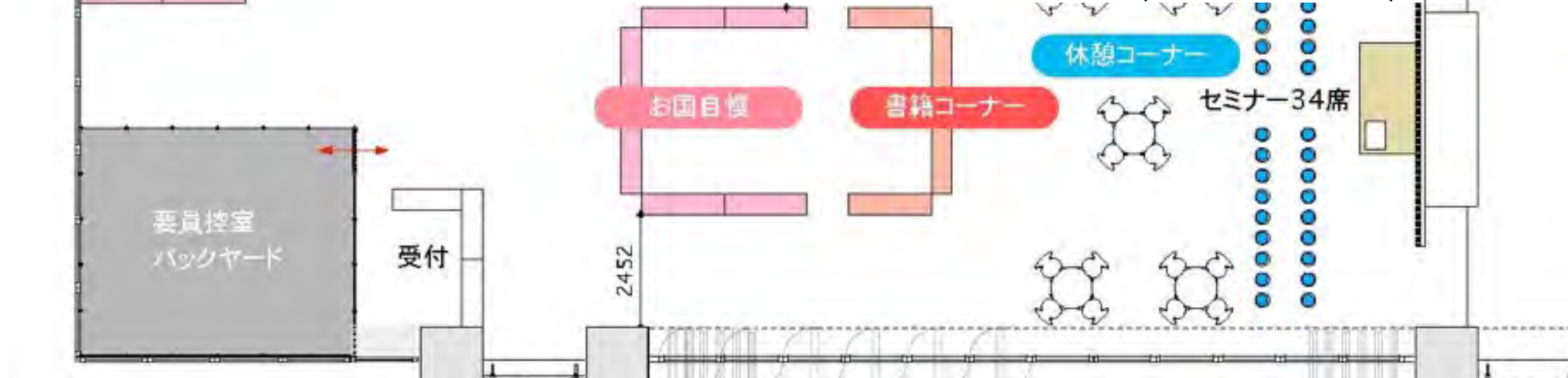
署名が集まっています。(目標：1万名)



ここでパンフ配布しています



感じるフロア(2階)



今後電話リレーサービス 普及シンポジウム 2回やります

日時 : 1/23(土) 17:30-20:30
場所 : 名古屋市総合社会福祉会館

日時 : 2/6(土) 13:30-16:30
場所 : 新長田勤労市民センター

参加お待ちしております！

日本で 電話リレーが サービスが 普及しない理由

當事者

環境

当事者

遠慮 甘え

無意識 諦め

当事者

コンプレックス

現状維持願望

逃避・回避

環境
行政
ろう教育
地域格差

環境

- 政府の縦割り行政
- 自主性を最大限尊重した
- 教育をしているか？
- 地域によって温度差有

根本的には
情報格差の
問題とも共通

情報格差とは
持っている
情報量に差が
あること

**NPO法人
インフォメーション
ギャップバスターでは
情報格差解消のために
3つのことを
取り組んでいます**

多くの人に
情報格差問題を
知ってもらおう
活動しています

例えば横浜国立大学 にて震災時の 情報格差問題の 解決方法をディスカッ ションする企画など



当事者が
自立して情報を
得るための方法
を教えます

例えは就労支援の
施設にて情報などの
整理の方法なども
を教えるままです



政府など
の
関係団
体
に
改善要
望を
出
して
いま
す

例えば横浜市の避難所でのコミュニケーションボードのマニュアル化の要望を出しています





BEYOND THE INFORMATION BARRIER

～誰もが情報を得ることのできる
豊かな社会を創ろう～

